

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和2年 6 月 29 日 (月) 13 時 30 分～14 時 50 分	開催場所	会議室
出席委員	<p>○人数：7人（欠席1名）</p> <p>○委員氏名・所属（役職）</p> <p>高田 幸典・大崎上島町（町長）＊欠席</p> <p>小川 裕壮・大崎上島町商工会（会長）</p> <p>坪谷<small>ニウエル</small>郁子・東京インターナショナルスクール（理事長）</p> <p>改発 祐一郎・東京都立国際高等学校（市民講師）</p> <p>草原 和博・広島大学大学院人間社会科学研究科（教授）</p> <p>野島 忠輔・広島叡智学園中学校・高等学校（PTA 会長）</p> <p>福島 一彦・広島叡智学園中学校・高等学校（校長）</p>		
会議の概要	<p>○会長及び副会長選出</p> <p>会長、副会長について、出席委員からの推薦をもとに、「全会異議なし」により草原委員が会長に、野島委員が副会長に選出された。</p> <p>○学校経営計画等，学校運営の基本方針や主な教育活動についての説明</p> <p>国際バカロレア，寮生活など重点項目についての学校からの説明をもとに、「全会異議なし」により学校経営計画が承認された。</p> <p>○学校運営に係る協議・意見交換</p> <p>各委員から，次のような貴重な御意見等をいただいた。今後，これらを参考に学校運営を進め，教育活動の更なる充実を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画については，環境分析に基づき達成目標や評価指標等がよく設定されている。しっかりと実践を行い，その評価の際は，客観性も担保できるように留意することが大切である。 ・国際バカロレア教育の取組においては，現状で順調に進められていることが分かる。今後，DP への準備を進めていくに当たっては，卒業後の個々の進路実現を見据えたプログラム開発において MYP からの継続性という視点を大切にしてほしい。 ・この島内には様々な資源があり，町内には協力したいという方々も多くいる。新型コロナウイルス感染症がおさまり地域との交流ができるようになれば，委員として可能な限り支援をしていきたい。学校で計画してきた様々な取組を進めてほしい。 ・現在の寮生活のルールは，昨年度，子供たちも参加して作られたものだと聞いているが中には細かく厳格なものがあると感じている。引き続きルールがある意味などを生徒に考えさせ，全体でより良いものにしてほしい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で，生徒は精神的に不安定な時期を過ごしてきた。第一に学校は安心安全な場所だと思えるように取組を進めてほしい。また，学校のある地域の豊かな自然などの資源を十分活用し，引き続き教育内容の充実を図るとともに，本校の魅力について広く情報発信することが必要である。 		
次回開催予定日	令和2年9月末		